

梅谷 裕規 議員

今回の議会での一般質問は①高江副町長就任後の動きと今後の取り組み②行財政改革の指針となる第六次行政改革大綱(令和4年度から5年間)の取り組み③町内小学校の特別支援教育充実の進捗状況の3点です。例年9月議会では、前年度決算を審査、認定する決算審査特別委員会が設置されます。今まで議長を除く13人の議員中7人で構成されていましたが、重要な委員会であり希望する議員の参加を強く要請したところ9人に増員となり、私も委員として出席。町の財政状況をはじめ主な事業の効果について質疑し認定しました。

平田 昌隆 議員

町財政の健全化判断比率並びに算定の基礎となる書類について、いずれも適正に処理されていると報告されました。学校統廃合などで支出が多く予定されていることから、この課題は極めて重要と考えます。引き続き健全化に向けて財政支出について、チェックしてまいります。また、一般会計の補正予算等の議案についても、真摯な討議を得て承認されました。さらに、一般質問においてはコロナ感染対策等白熱した議論がされ有意義な議会となりました。今後

も、安心・安全な田原本町の構築を目指し、活動してまいります。

藤井 誠人 議員

一般質問2点①学校での児童生徒の安全を質す。統廃合に向け最短で5年、先の事だけに目を向けず、子供の安全を建築士の視点で、費用削減の仕組み等を提案。「再構築する」と教育長。②障害者が社会参加しやすいまちづくりを質す。障害者の移動や生活をもっと便利に、負担や不安を軽減出来る障害者手帳のデジタル化に向けアプリの導入を提案。民間への波及も考え早急に町の施設に導入準備と回答。分かりやすく周知出来るようHPや広報掲載予定、その名は「ミライロID」。決算委員会ではスポーツ推進で施設有効利用に関してなど4点質しました。

梶木 裕文 議員

新型コロナウイルスに感染し自宅療養となった又は濃厚接触者等で自宅待機となった住民に対し、体調管理のためのパルスオキシメーターの貸し出しや、希望される方への食料品を配布する事業に対し、対象者と求めました。これまで処理が困難な品目の粗大ごみ「スプリング入りマットレス及びスプリング入りソ

ファア」の回収(手数料1200円)に伴う条例の改正について、粗大ごみは高齢者の方や障害のある方等に對しては、運び出しサービスが必要ではないかと提案致しました。

村上 清司 議員

町では平成緊急内水対策事業の重点箇所を鋭意取り組まれており、その地上部の活用について、大和平野中央プロジェクト候補地隣接の青垣生涯学習センター東側はスケートボードパークを計画しており、プロジェクトのスポーツ施設との連携を奈良県と模索しているとの事。図書館では、閉館後に椅子と机、記載台等を職員が消毒に努め、職員と利用者との直接接触する機会を減らし、感染リスクを下げ住民の安全第一を、読書席は町内在住者に限定。学校との連携では、学校図書館の開館、授業テーマや季節に応じて図書館が学校への貸し出し、システムを連携しスムーズな本のやりとりを進めているとの事でありました。

安田 喜代一 議員

スプリング入りのマットレスやソファなどを町の粗大ごみとして出す場合、今までは自分で解体しスプリングを取り出す必要がありました。地域の皆様からは個人での解体が難

しかったり、作業する場所が必要であったりと、処分に困っているとの声をよく聞いていました。今期定例会に、粗大ごみの回収に関する条例の一部改正が提出され、スプリング入りの家具を粗大ごみとして町が引き取り回収するサービス(有料)を12月から開始するもので、委員会審査し、賛成し可決されました。

古立 憲昭 議員

①家族を介護する夫や息子、いわゆる男性介護者が増加傾向にあります。男性は家事が苦手、地域との交流が希薄等男性独特の悩みや課題を抱え、在宅療養の継続が困難になる可能性が高いといわれています。そこで男性介護者の対応を問う。②教員の働き方改革の一環として、公立中学校における部活動の地域移行が論議されている。本町も外部指導者の配置を増やしておられるが、より一層、学校の実情にあわせ地域移行を検討したい。また小学校の水泳授業がコロナの影響で中止、そこでスイミングスクールを利用し、いつでも授業ができる対応を提案しました。議会を傍聴してみませんか

次回定例会は、12月上旬に開催(予定)します。
☎ 議会事務局 ☎ 34・2119

議会だより

令和4年 第3回定例会

発行 田原本町議会
編集 議会編集委員会

議案概要

《報告を受けた案件》

○令和3年度田原本町健全化判断比率の報告

地方公共団体の財政の健全化に関する法律に基づく当該年度の健全化判断比率の財政4指標について、実質赤字比率・連結実質赤字比率は黒字で該当せず、また実質公債費比率10・8%(前年度対比1・1ポイント上昇)、将来負担比率49・3%(同6・7ポイント低下)であり、いずれも早期健全化基準を下回っていることを報告するもの。

○令和3年度田原本町資金不足比率の報告

地方公共団体の財政の健全化に関する法律に基づく当該年度の水道事業会計及び下水道事業会計に関わる資金不足は生じておらず、経営健全化基準を下回っていることを報告す

るもの。

《承認・可決・認定した議案》

○令和4年度田原本町一般会計補正予算(第5号)の専決処分※の報告(全員賛成)

補正予算額は2497万5000円の増額で、補正内容は、衛生費で新型コロナウイルス感染症の在宅療養者健康管理支援事業実施にかかる事業費。主なものは、陽性者及び濃厚接触者の食料品等の購入費用や看護師等の雇上げの報償費。歳入補正は繰越金。

※議会が議決しなければならぬ事項を、町長が代わって意思決定をすることです。時間的に議会の招集を待てない緊急な場合などに行きることになります。専決処分の際に、議会に報告し承認を求める議案の提出が必要です。このほか、あらかじめ議決によって特に指定したものは専決処分がで

きます(議会の委任による専決処分)が、その後議会への報告が必要

○令和3年度田原本町下水道事業会計未処分利益剰余金の処分について(全員賛成)

令和3年度の未処分利益剰余金1億1268万1499円のうち、1億円を処分し、減債積立金に積み立てるもの。

○令和4年度田原本町一般会計補正予算(第6号)(全員賛成)

補正予算額は1億2810万2000円の増額で、補正内容は、総務費で令和3年度決算が確定したことに伴い、繰越金の一部を公共施設等整備基金に積み立てるもの。民生費で国民健康保険特別会計繰出金の増額、令和3年度事業の「子育て世帯等臨時特別支援事業費補助金」の精算に伴う国庫支出金返納金、コロナ禍における生活支援として保育所等の副食費助成事業の増額に係る経費。衛生費で松本・西竹田共同墓地火葬場において、火葬炉の排気ダクトの故障により使用不可能であることから、早急に修繕を行いたいとの申し入れがあり、田原本町火葬場整備事業補助金交付要綱の規定に基づき補助金を交付するもの。教育費で、東幼稚園が閉園となることに伴い、東幼稚園の使用可能な空調設備を田原

《提出された意見書》

第3回定例会で不採択とした意見書は以下のとおりです。

意見書	提出議員
安倍元総理大臣の「国葬」の見直しを求める意見書(賛成少数)	吉田容工議員

意見書 地方自治法第99条の規定に基づき、町の公益に関することについて、議会の意思を意見としてまとめた文書で、国会または国、県などの関係行政庁に対し提出するものです。

○職員の子育休業等に関する条例の一部を改正する条例（全員賛成）
国家公務員に準じ、職員の子育休業の取得要件の緩和等を行うため、所要の改正を行うもの。

○田原本町立学校設置条例の一部を改正する条例（賛成多数）
休園中の東幼稚園の跡地活用候補者が確定したことから、条例に定める幼稚園の中から東幼稚園を削除するもの。

○田原本町廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部を改正する条例（全員賛成）
適正な処理が困難な品目の粗大ごみの回収に伴い、新たに発生する解体に係る費用の負担を求めため、手数料の額について改正するもの。

改正内容 粗大ごみの手数料にスプリング入りマットレス及びスプリング入りソファを追加するもので、それぞれの手数料の額を1200円とする。



施行期日 令和4年12月1日
○財産の取得（2トン級塵芥収集車）について（全員賛成）

2トン級塵芥収集車を取得金額963万1130円で、岸原自動車株式会社（田原本町）より取得するもの。

町政を問う

このコーナーは本定例会での発言等に基づいて、各議員の責任により原稿の提出を受けたものです。

植田 昌孝 議長

今期定例会では、議会音響システム等の財産の取得ほか13件の議案、意見書1件を審議し、7名の議員が一般質問を行いました。本町の議会音響システムは、平成6年本庁舎建設時に設置されて以降、28年経過し、不具合も増えてきたことから、更新されデジタル化されます。今後は新たな音響システムを有効に活用し、開かれた議会に向け取り組んでまいります。さて、毎年9月定例会では決算審査を行います。今回は委員9名による決算審査特別委員会を設置し令和3年度決算について、適切で効率的な執行であったかを審議し認定されました。

西川 六男 議員

県の調査では、小・中学校の『普通教室』のエアコンの設置率は、県下39市町村のうち34市町村が100%で、本町も100%です。

○財産の取得（議会会議音響・映像システム）について（全員賛成）
議会会議音響・映像システムを取得金額2112万円で、神戸綜合速記株式会社（兵庫県神戸市）より取得するもの。

○令和3年度田原本町各会計決算の認定について（賛成多数）
地方自治法第233条第3項及び地方公営企業法第30条第4項の規定により、監査委員の意見を付けて議会の認定に付すもの。

委員9名で構成される決算審査特別委員会を設置し、各会計決算について審査を行いました。（決算の詳細は広報10月号に掲載されています）



《適任とした人事案件》

○人権擁護委員候補者推薦につき議会の意見を聞くことについて
氏名 松田明彦氏
任期 令和5年1月1日から
令和7年12月31日

委員会審査の状況 (質疑等から抜粋)

しかし本町の音楽室・家庭科室・理科室等の『特別教室』の設置率は46.3%です。（三宅町・川西町・斑鳩町・安堵町等は100%）本町の中学校2校では、コロナ対策等の国・県からのお金を活用し、町からの持ち出し金0円で、特別教室のエアコンの設置を完了しました。小学校の未設置の特別教室も、同様にコロナ対策等の国・県のお金を活用し、エアコンを設置する事を求めました。

竹邑 利文 議員

選挙の投票率向上と学校施設の機能の改善への取り組みについて質した。20歳未満の投票率は約40%で全体の約55%と比較して低いが前回よりは伸びており、投票する意識が浸透されてきたと考える。期日前投票は増加傾向にあり各自治会に投票の啓発活動をお願いした。学校施設は町の大きな宝、町の将来を担う子供たちの為に多様化する教育方法、学習活動、コロナ禍の新しい生活様式に対応できるよう十分な教育環境を整備するよう、財源は国の補助金を最大限に活用し、有効な起債も活用し一般財源を減らすと答弁を得た。

吉田 容工 議員

コロナ対策を田原本町新型インフルエンザ等対策行動計画に基づいて

《総務文教委員会》

質問 令和4年度田原本町一般会計補正予算（第6号）について、空調設備の移設台数と、移設費が高額である理由は。新設する場合との金額差は。

回答 移設を予定している4台の空調設備は家庭用と違い業務用でかなり大きく、馬力のあるものである。設置にあたり、特別な電源工事や、冷媒管・配管の工事費用が必要になる。新設に比べ、機器代分として1台あたり約50万円安くなる見込みである。また、入札による業者選定でいくらか安くなると見込んでいる。

質問 財産の取得（議会会議音響・映像システム）について、改修に伴い庁舎1階モニターで議会の映像がデジタル画質で映るのか。

回答 現在はアナログ画質であるが、一般のテレビ映像と同程度のデジタル画質で提供できる。

《厚生建設委員会》

質問 令和4年度田原本町一般会計補正予算（第5号）の専決処分の報告について、新型コロナウイルス陽性者及び濃厚接触者の食料品等配布の周知方法は。

回答 町広報紙やホームページ等で周知しているが、まだまだ周知が足

行っているか質しました。行動計画には、「町は、…対策を総合的に推進する責務を有する。」「要援護者への生活支援を行う。」と明記されています。ざおん祭がコロナ感染急拡大の原因ではないのか？と質すと、「決定権は私にない。実行委員会の責任で実施。」50歳代の男性が何故亡くなられたのか？と質すと、「個人情報共有できてない。」町長は、町民の命を守ることに興味がないような答弁に終始されました。

岡本 充弘 議員

今定例会では、公共施設の整備・見直しに関する事案が多かったように思います。学校統廃合に関する内容もあり町として公共施設の整備には非常に多くの予算が必要になっています。一般質問や決算委員会の中でも、副町長が「すべての公共施設の改築整備を実施すると、5年分の予算が必要になってくる」と答弁されました。事業の縮小や廃止などの見直しを進めていくことは、必要なことだと認識しています。その中でより最善に、より快適になることを求めていく為、これからも議論を交わしてまいります。

杉岡 雅司 議員

7月にオミクロン株（BA.5系

りていない状況である。今後は多くの住民の方に利用していただけるよう回覧等周知方法を検討してまいります。

質問 田原本町廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部を改正する条例について、スプリング入りマットレス及びスプリング入りソファの回収費用はどうなるのか。回収開始が12月1日からであるが、もう少し早められないか。

回答 これまでは町で回収してなかったスプリング入りマットレス等を、手数料1200円で回収するもの。また、これまでどおり自ら解体しスプリングとして粗大ごみに出した場合は300円の負担となる。周知期間が必要であるため、12月からお願したい。

町議会ホームページを
ご覧ください

町議会ホームページでは、町議会のしくみや会議録など議会について情報発信しています。過去の議会だよりも見ることができます。



統)の急速な感染拡大がみられました。これに関連して、今定例会では以前から感染者の支援事業として実施していた看護師による健康相談や食料の配布、パルスオキシメーターの貸し出しの予算増額があり、感染者の療養の不安に役立つことから、町民の皆さんへの周知方法を検討するよう求めました。また、要望が多数あったスプリング入りマットレス等の粗大ごみの回収について12月からは有料ではありますが解体することなく回収していただけるようになり、住民の皆さんの利便の向上が図られると考えます。

持田 尚頭 議員

廃棄物の処理及び清掃に関する条例の改正について審議しました。改正の内容は、粗大ごみのスプリング入りマットレスやスプリング入りソファは、スプリングを取り除かなければ収集されず、解体に手間が生じるなど簡単に排出することができませんでした。今回新たにスプリングが付いたままの状態でも収集する手数料が1点あたり1200円になるものです。手数料の負担は生じますが、スプリングの取り出しが不要になり、排出しやすくなることから賛成し、可決されました。なお、今年の12月から開始される予定です。